



直方南小学校だより

令和5年10月26日(木)

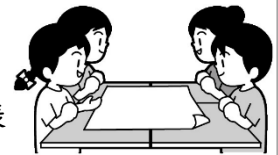
No.12 文責 今川 恵子

全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に、4月に実施しました全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。国語、算数の正答率については、全国平均を上回りました。また、無解答がほとんどなく、解答を導くために粘り強く取り組んだ姿勢が表れていました。

【国語】

「言葉の特徴や使い方に関する問題」について、漢字の使い方を正しく理解して書くことができていました。一方、「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。字数などの条件に合うように自分の考えを文章でまとめたり、何が、どのように書かれているのかを考えて説明したりする活動を授業に取り入れていきます。



【算数】

算数の基本的な考え方や、身の回りの事象について問う問題に対して、数や式、文を用いて解答することができていました。特に、「数と計算」の領域においては、正答率が高く、計算の知識や技能が身に付いていることが分かりました。一方、正答率が低かったのは、「図形」の問題です。図形の意味や性質を理解し、条件を順序だてて整理しながら解答を導くことに課題が見られました。学習した内容を繰り返し復習したり、ICT機器を活用しながら図形を視覚的に捉えたりするなど、授業づくりを工夫していきます。

【学習状況】

児童への質問紙調査に、家庭学習に関する項目がありました。家庭で学習する時間は全国平均より上回っていましたが、「自分で計画を立てて学習する」割合は低い結果が見られました。宿題など、与えられた課題に取り組むだけでなく、予習や復習、自主学習など目標を立て、計画的に学習できるよう内容や方法を学年に応じて指導・支援を行っていきます。

なお、これらの調査は、児童の学力の傾向を調べ、分析することを目的としたものです。本校ではその結果を基に、全ての学年の日常の授業や授業研究を通して、児童の課題に応じて個別指導や全体での指導に活用しています。



6年生児童一人一人の結果については、11月末の個人懇談会で、直接、保護者の方へお渡しします。併せて、5年生を対象とした福岡県学力調査の結果についても、懇談会でお渡しいたしますのでご確認ください。